

進修館の魅力を引き立てる「催しのお知らせ」

秋から冬にかけて、進修館を大切に思う方々と、催しを共同開催いたします。
ぜひ足をお運びください。

窓を開いて風をまねく When the openings were open 2024

宮代町の中心をなす建物である進修館は、象設計集団の手によって、周辺の環境との関係、自然の光や風を重視して設計されました。そのような進修館であるからこそ、その魅力が最大限になるのは、すべての窓が開かれたときなのではないでしょうか。そんな思いから、1つ1つ丁寧に設計された個性豊かな「窓」がすべて開かれたときの進修館を体験できる企画を行います。

今回はイベントとして、実験的に進修館の主要な部屋の窓を開け放ちます。窓を開けた部屋は自由にご覧いただけます。飲食可能な部屋にて、風を感じながらピクニックのように過ごしていただくこともできます。光と風が通り抜け、音がこだまする進修館を体験することで、この建物の新たな可能性を見つけていただけたらと思っています。ぜひ見たことの無い新たな進修館の姿を見に、そして吹き抜ける風を体験しに来て下さい！

When the openings were open



窓を開いて風をまねく

窓を開いて風をまねく
When the openings were open
2024



宮代町の中心をなす建物であるコミュニティセンター進修館。この1980年に建てられた建物は、象設計集団の手によって、周辺の環境との関係、自然の光や風を重視して設計されました。そのような建物の魅力から、その魅力が最大限になるのは、すべての窓が開かれたときなのではないでしょうか。

そんな思いから、1つ1つ丁寧に設計された個性豊かな「窓」がすべて開かれたときの進修館を体験できる企画を行います。今回はイベントとして、実験的に進修館の主要な部屋の窓を開け放ちます。窓を開けた部屋は自由にご覧いただけます。飲食可能な部屋にて、風を感じながらピクニックのように過ごしていただくこともできます。

光と風が通り抜け、音がこだまする進修館を体験することで、この建物の新たな魅力や可能性を見つけたいと考えています。ぜひ見たことの無い新たな進修館の姿を見に、そして吹き抜ける風を体験しに来て下さい！

日時 | 2024年11月10日(日) 10:00-19:00
会場 | 埼玉県コミュニティセンター進修館
●埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1 ●市営無料
(※武蔵野線より徒歩5分)

主催 | 2.5 architects, space845
協賛 | 2.5 architects, space845
お問い合わせ | 2.5 architects
〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1
TEL: 0480-33-3846
E-mail: info@shinsyukan.or.jp
Instagram: @shinsyukanopen

日時：2024年11月10日（日）10:00～19:00
場所：大ホール・研修室・食堂 ほか
参加費：無料
主催・企画：2.5architects、space845

キャンドルナイト in 進修館 2024

進修館の冬の風物詩、キャンドルナイト in 進修館が今年も開催されます。障がいのあるなしに関わらず、お互いを大切に、みんなが主役となる地域社会をつくるという、障がい者福祉のメッセージが込められた本イベント。宮代町内の幼稚園・保育園

小中学校の子どもたちが感謝の言葉を描いた紙コップろうそく3000個が進修館芝生広場をうめつくします。
冬の夜のひととき、感謝の気持ちで満たされた進修館芝生広場でゆっくりお過ごしください。



日時：2024年12月14日（土）17:00～19:00
場所：四季の丘（芝生広場）
参加費：無料

第1回 進修館ロビーコンサート ピアノリサイタル「大切な人といっしょに」

キャンドルナイト点灯前のひととき、質の高い音楽でお過ごしいただけるロビーコンサートを開催します。耳なじみのある曲の数々で、お子様からご年配の方までお楽しみいただけるコンサートです。あなたの大切な人と、ぜひお越しください。

日時：2024年12月14日（土）14:00開場 14:30開演
場所：2Fロビー
出演：西村翔太郎（ピアニスト：カンパニーヒュッゲメンバー）
チケット：前売り…大人1500円、中高大学生1000円
小学生以下500円（当日券は各300円増）
進修館窓口にて前売券販売中！ ※大人が同伴する場合、子ども一人まで無料



Community Center Shinsyukan

進修館だより



進修館×今帰仁村中央公民館交流記念企画

沖縄県

なきじんまつり in 進修館



「なきじんまつり」へようこそ！

みなさま、ようこそお越しくださいました！
本日は沖縄県今帰仁村（なきじんそん）の風が、進修館内に満ち溢れます。

沖縄県今帰仁村には、進修館と同じ「象設計集団」が設計し1975年に開館した中央公民館があります。コンクリート建築であること、「自分たちの暮らす地域のことを、自らの手で作り上げる」という「自力建設」の理念のもとに設計されていること、そして何より、地域の人々が集う公共施設であることなど、共通点の多い2つの施設。そのつながりは2022年秋、今帰仁村のみなさんが進修館に視察にいらした

ことがきっかけでした。ともに40年を超えた建物。どのように大切に管理運営していくか、素晴らしい建物だということも多くの人に知っていただくためにどうするか、地域のコミュニティ拠点としてどのような取り組みをするか、などの情報交換をしつつ、今帰仁村のシンポジウムで進修館の運営についてお話しさせていただいたり、進修館ファンクラブの催し参加や視察のため今帰仁村の方が来てくださったりと、ゆる

やかに交流をすすめていました。
そしてこのたび、今帰仁村の子どもたちによる公演と物産販売を通じた文化交流が実現しました。今日は、遠く1500キロ離れた2つの施設がさらに深くつながる記念の日です。
今帰仁村のみなさま、宮代町へようこそ！そしてご来場のみなさま、本日はどうぞ、おたのしみください！



【めんそ〜れ！沖縄県なきじんまつり in 進修館】

主催：コミュニティセンター進修館
協力：沖縄県今帰仁村 8町会連合会
宮代町民俗舞踊連盟

進修館だより「沖縄県なきじんまつり in 進修館」号外：2024/11/04(月)発行
発行元：宮代町立 コミュニティセンター進修館
（指定管理者：特定非営利活動法人 MCAサポートセンター）
住所：〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1 TEL：0480-33-3846
URL：https://www.shinsyukan.or.jp E-mail：info@shinsyukan.or.jp



なきじんそん 今帰仁村だより [特別編]

このコーナーでは進修館と交流のある沖縄県今帰仁村との交流の様子やさまざまな情報をお届けします。

このコーナーでは、宮代町に在住・在勤・在学など宮代町に関わる方々にお話を伺っています。

進修館と今帰仁村とのつながりのきっかけになった「今帰仁村中央公民館」は、設計者である「象設計集団」が沖縄で最初に手掛けた代表作です。沖縄の気候風土と地域の暮らしを徹底して調査した建築として、その後の作風に多大な影響を与えた原点ともいえる建築です。いま今帰仁村では、この中央公民館に込められた象設計集団の設計理念を大切にされた整備計画が進められています。

【北山文化圏センター整備事業】

「今帰仁村中央公民館」を中心としたエリアには、村役場・コミュニティセンター保健センターなどの公共施設や、地元産品にこだわって地元今帰仁産の農産物が並ぶ「今帰仁の駅そ〜れ」などがあります。これら公共施設の再編や既存施設の有効活用を含めて、一帯を今帰仁村の潜在的資源や魅力を活用した交流拠点として活用するため、現在「北山（ほくざん）文化圏センター整備計画」が進められています。今帰仁村は豊かな自然に囲まれており、山から原集落、低地農地、そして海へとつながる「やんばる型土地利用」と呼ばれる環境単位の中で、村民が相互に信頼しあいながら暮らしてきています。こうした暮らしや生活環境こそが今帰仁村の潜在的な資源であると位置づけ、それを活かす拠点とすることが、この整備計画の目的となっています。



【今帰仁村中央公民館全景】
開館時に大屋根を覆っていたブーゲンビリアは取り払われています。

【今帰仁村中央公民館の建築的意味を再評価】

この計画の中では、建築として中央公民館の再評価がなされています。中央公民館の設計にあたって、象設計集団は土地や風土、生活などを徹底して調査し、設計に取り入れています。それは、村民のくらしから地形など多岐にわたり、それをコンクリートやブロックという沖縄を代表する素材を使って作り上げることで、沖縄の伝統的空間を現代建築の原型として提示しています。また、くらしの中心となる空間として、さまざまな公共施設と連携し、総合的に村民の生活基盤を支える「村民センター」としての機能を持つとともに、ガジュマルの大木の下に涼しい風が通り抜ける状況を建築化し、コンクリートの屋根の上にブーゲ

ンビリアをはわせて断熱・修景効果として活用するように設計されています。こうした特徴的な価値を今後も活かしていくために、建物の補強・再生とともに、隣接する施設との連携を含めた機能整理も行われます。

【やはり、自力建設の象徴】

この計画を支えるのは、今帰仁村に暮らし、その環境や生活を大切に思う人々です。中央公民館に関しては、劣化したコンクリート躯体の調査や修復作業を県内外の団体が草の根的に根気強く行っています。また村内で活動するNPO法人が中心となり、中央公民館が地域コミュニティの拠点であることを催し物で表現したり、設計理念の理解に努めるなど、その活動力には本当に頭が下がります。象設計集団の建築には「七つの原則」というものがあり、その中に自らの地域を、自らの手で作り上げてゆく哲学「自力建設」という言葉があります。中央公民館を取り巻く今帰仁村のみなさんは、この言葉を象徴しているように感じられます。



【催しの様子】
中央公民館の中庭を使って継続的に開催される地域の人々が集まる催しを通じ、地域拠点としての機能が再確認されました。

まちの皆様インタビュー！

◆ 特別編：象設計集団 富田玲子さんと進修館だよりを囲んで

進修館を設計した象設計集団の富田玲子さんは、日ごろから進修館の運営に心を向けてくださっており、毎月発行する「進修館だより」を丹念に読んで感想をくださったりしています。今回は、その目玉コーナーである「まちの皆様インタビュー」の特別編として、富田さんと「進修館だより」を囲みながらお話を伺いました。

【進修館と今帰仁村中央公民館が一体になる！】

お会いしてすぐ話題になったのは、「なきじんまつり」のポスターデザインについてでした。「進修館と今帰仁村中央公民館が一緒になっている写真はおもしろかったですね。この進修館の写真はいいアングルだな〜と思っていたけれど、何かが違う…よく見たら2つの建物がつながっている。」とおっしゃる富田さん。2つの建築があまりに自然につながっているのが、初めは気が付かなかったのだそう。進修館と今帰仁村中央公民館のつながりを表現したものとお話したところ、元来、それぞれの建物が、その土地の植物で覆われるような設計になっていることから「ぶどうとブーゲンビリアで覆われた状態でつながっている写真があってもおもしろそうね」とおっしゃっていました。

【半世紀近い時間を経て奇跡的につながった】

今帰仁村中央公民館は1975年に、進修館は1980年にできた建築です。同じ象設計集団が手掛けた建物とはいえ、埼玉県と沖縄県という遠く離れた場所にあり、そこがつながることは富田さんも思いもよらなかったことのようにです。「もう素晴らしいことだと思う。本当に奇跡的のひとこと。この言葉につきます。」ととても喜んでくださっていました。各地で、その建物を使う人のことはもとより、建てられる土地のことや風土まで入念に調査したうえで設計されている象設計の建築は、まさに唯一無二のもので。関東近郊では、東京都奥多摩にある東京多摩学園のような大きな建築から、世田谷区用の賀プロムナードのような遊歩道、また最近では保育園や老人福祉施設の設計も手掛けています。象設計集団の建築同士がつながることは、ひいてはその場所に暮らす人とつながるということとも言えます。「つぎはどことつながるのか、楽しみです。」という富田さんの言葉の奥には、こうしたゆるやかなつながりの持つ可能性を示唆しているように感じました。

【「なきじんまつり」によせて】

この度の「なきじんまつり」には、たくさんの方が関わっています。例えば公演の



富田さんは「なきじんまつり」でのお買い物も楽しみにしてくださっている様子。たくさん楽しんでいただきたいです！

ために宮代町に来て下さったみなさんを地元の8町会連合会が受け入れ、地域との交流の場を提供して下さるなど、単なる興行ではない交流を生み出しています。これに関して富田さんは「今後は笠原小学校で子ども同士が交流したり一緒に授業を受けたり、進修館の議場（小ホール）で宮代の子どもたちと今帰仁の子どもたちで子ども議会を開催して、子どもたちが決めたことをみんなで一緒に実現していったらたおもしろそうね」と話してくださいました。

富田さんにして「とにかく、何が起こるのかわからない感じでおもしろい」と言っていた「なきじんまつり」。楽しい交流は、まだ始まったばかりです。



【象設計集団 東京事務所】
富田さんにお話を伺った、象設計集団東京事務所。住宅地の中なのに森の中のような心地よさです。



【象設計集団に関する本の数々】
象設計集団に関する書籍は多く発行されています。今後も建築を通じた交流を広げられたらいいですね。



進修館 公式LINE お友だち募集中！

公式LINEでは、毎週水曜日に進修館の様々な情報をお届けしています。LINEでしか公開されないレア情報などもありますので、皆さまぜひご登録ください！



【北山文化圏センター完成イメージ】
コミュニティセンターが移転し、建築や広場、周辺の丘陵地などにつながりが生まれる計画になっています。